

ことば便り



墨田区立押上小学校
校長 島田 和久
ことばの教室 NO. 5
TEL 03-3617-6925
令和5年9月1日(金)



今夏もとても暑い“熱い”夏でした。体調維持も難しかったのではないのでしょうか。

夏休みは楽しく過ごせましたか。お盆の時期の台風などもあって、計画通りにいかなかったご家庭もあったかもしれません。それらも含め、子供たちから、いろいろな夏の思い出を聞いて共有したいと思っています。今月も楽しい指導を心がけていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

9・10月の行事予定

9月

10月

- 4日(月) 個別指導開始
- 5日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 12日(火) 都難言協専門研究会(午後)
- 13日(水) グループ指導(吃音)(15時半～16時半)
- 19日(火) 通級相談委員会(午前)
※午前の通級はお休みです
- 22日(金) 専門家診断(午後)
※午後の通級はお休みです
- 29日(金) 前期通級終了
- 30日(土) 押上小土曜公開授業「ことばの相談日」

- 2日～6日 保護者面談期間
- 3日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 6日(金) 前期終業式
- 10日(火) 後期始業式、
都難言協専門研究会(午後)
- 11日(水) 後期通級開始
- 14日(土) 押上小土曜公開授業
- 18日(水) グループ指導(吃音)(15時半～16時半)
- 20日(金) 押上小就学時健診
※午後の通級はお休みです
- 28日(土) 押上小土曜公開授業

❖「ことばの相談」について

相談日：9月30日(土) 9時30分～11時30分

押上小の学校公開日に合わせて「ことばの相談」を行います。お子さんの様子で気になることなどの相談のほかに、施設の見学ができます。事前に連絡の上、お越しいただくとスムーズです。

TEL3617-6925(教室直通)

お気軽に
ご相談を

＜ことばの相談内容＞

発音の誤り
正しく発音できない音がある。
言葉が不明瞭。



ことばの発達が遅いようだ
言葉数が少ない、文が繋がらない。
年齢の割に幼い話し方である。

吃音がある
音や言葉を繰り返したり、引き伸ばしたりする。
つまって言葉が出ない。

文字の読み書きが身につかない。
練習しても文字が覚えられない。
文字の読みがたどたどしい。

❖お楽しみ会～夏祭り～を実施しました!!

7月12日(水)にお楽しみ会を行いました。通級児童とその兄弟姉妹33名の児童が参加しました。保護者の方も大勢来室し盛り上がりました。ヨーヨー釣り、チャンプーの工作、ラグビーボールポリング、お菓子付き魚釣り、割り箸鉄砲の的当ての5つの店を通級児童が交代で担当しました。お客さんへのルール説明やゲーム進行、カードのハンコ押しなど、どの児童も自分のすべきことを考え、意欲的に取り組んでいました。話すことに自信がもてる体験ができたと思います。「忙しすぎて大変だった」「呼び込み頑張った」との感想の他、多くの児童や参観の保護者から「楽しかった」との声を聞くことができました。ご協力ありがとうございました。



◆ 保護者講演会を行いました。

7月18日(火)、アナログゲーム療育アドバイザー松本太一先生による講演会「アナログゲーム療育～ルールを守り合いを通じて成長する～」を実施しました。当日は、ことばの教室に通級の保護者、特別支援教室の保護者や担任、墨田区内のことばの教室の担任にも参加いただき、ゲームも体験しながら、密度の濃い楽しい研修の機会になりました。当日は、まず、アドラー心理学の中核概念である「共同体感覚」―「自分は人から助けてもらえる(他者信頼)」「自分は人の役に立てる(自己信頼)」「自分はここにもよい(所属感)」→「この三つを感じているとき人間は幸せである」のお話がありました。コミュニケーションの困難さを生まないために、その共同体感覚を幼少期から作っていくこと、それには「ルールを守り合いの成功体験」が必要で、アナログゲームの「ルールを守り合う協力関係」の実践が共同体感覚を作るのに有効とお話でした。「ルールを守り合いが苦手」「集団参加が難しい」「優位性の欲求が高い」「すぐにかんしゃくを起こす」など集団でのスムーズな参加が難しい児童に対しての、様々な場面でのゲームの選び方、介在する大人の関わり方などを具体的に教えてくださいました。松本先生は、例えば「勝ちにこだわる子」は“困った”と捉えずに参加意欲のある子供と考えていらっしゃいました。その肯定的な視点からアナログゲーム療育を実践されていました。「勝ちにこだわる」場合、その優位性の欲求をうまく満たすゲームを活用する、「かんしゃくを起こす子」は原因の多くが「理由が分からず負けたり失敗したりする」ので「まず子供のレベルに合った簡単なゲームで、負けたり失敗したりする理由が分かるようにする」「カードの効果や進行状態などの言葉かけをすることでルール理解や状況理解を促す」と良いとのことでした。後半は説明も兼ね、実際にいくつかのアナログゲームをグループごとに参加者で体験してみました。リラックスした雰囲気でも歓声もあがり楽しく体験は進みました。終了後は、家庭でゲームをしたときの兄弟間のトラブルへの対処法や、勝手に自分に都合の良いようにルールを変えてしまう場合への対策(周囲へ了解を得る→合意形成の練習へ)など、保護者の質問に答える機会ももちました。



ことばの教室でもアナログゲームを取り入れています。今後は講演内容を参考に、目的を意識し言葉かけなども工夫して実践したいと思います。

祝日

★ことばの教室では、祝日を話題にことばの学習をしています。理由を知らない児童も多くいます。9・10月の祝日の説明を簡単に紹介します。ご家庭でも話題にし、子供たちと話をしてみてください。

何の日か知ってる？

9/18(月) 敬老の日・・・ <第3月曜>

老人を敬い長寿を祝う日。昔、聖徳太子が身寄りのない病人や老人の世話のための施設「悲田院」をつくったと伝えられる日にちなみ「としよりの日」と呼ばれていた。おじいちゃんやおばあちゃんに小さい頃の様子を聞いてみてはどうでしょう。お年寄りを敬い、手助けしようという心を育てたいですね。



9/23(土) 秋分の日・・・

天文学上の「秋分」(黄道と天の赤道が交わる秋分点を太陽が通過する瞬間)を含む日を指す。秋分の日には太陽が真東から昇り真西に沈むため昼と夜の長さがほぼ同じに。春分の日と秋分の日、彼岸(ご先祖様が住む世)と此岸(この世)が最も近く通じやすいと考えられたため、ご先祖様を供養する日として秋分の時期をお彼岸と定めた。秋分の日には「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」。「昼と夜の長さが同じ」だけではない・・・。



10/9(月) スポーツの日・・・ <第2月曜>

スポーツに親しみ、健康な体をつくる日。1964年10月10日に東京オリンピックの開会式が行われたことから、1966年10月10日に「体育の日」として国民の祝日となった。そして2000年より10月第二月曜を「スポーツの日」とした。教育的内容を含む「体育」でなく、純粋にスポーツに親しみ、世界共通で使われている「スポーツ」へと名称の変更を行った。スポーツの楽しみ方はいろいろ。スポーツ観戦などもいいですね。ご家庭でも何か取り組んでみてはどうでしょう。